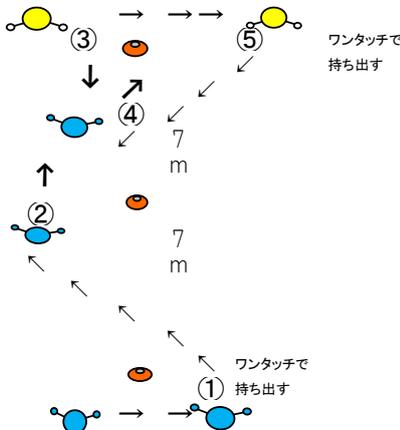


ガバナーカップHYOGO 2015 海外指導者によるサッカー指導者講習会

日時:2015年3月27日(金)10:00~11:00
 場所:三木防災総合運動公園 第3球技場
 講師:イエン氏(コーチ)・マコス氏(Aコーチ)
 通訳:浦元健太郎
 対象:兵庫県U18選抜22名 講習会参加者:県内指導者34名

テーマ《攻守の切り替え》

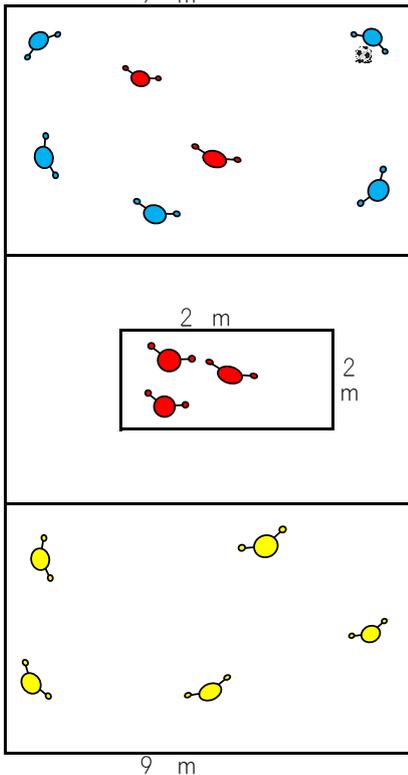
『W-UP』 パスワーク



【オーガナイズ】

- ・マーカーを準備者と見立ててパスワーク
- ・①リターンされたボールを斜めに持ち出し
- ・②対面へパスし③リターンされたボールを
- ・④ワンタッチで返し⑤対面者は斜めに持ち出す
- ・①~⑤を繰り返す

『TR-1』 5対2



【オーガナイズ】

- ・5人でパスを5本通したら逆サイドの5人へパス
- ・逆サイドにボールが入ったら中央待機守備者のうち2人がボールを奪いに行く
- ・守備者にボールを奪われたらコーチから配球で素早く攻守交代
- ・ワンバウンドハンドパス (逆サイドへはノーバウンドで) →足で (逆サイドへはできるだけゴロで)

コーチの声

- ・「まずこなせているか？そして徐々にインテンシティを加えるように」
- ・「横と密着しているが(6m間隔)この狭さでクオリティを高めたい」
- ・「両足を使おう(できるだけ)」
- ・「立足を使って早く切り替えて」
- ・「外側の足に正確にパスして」
- ・「できるだけ早く、ダイレクト、2タッチで、グラウンダーで」
- ・「集中力を欠いて、アウトサイドでコントロールしてミスしているよ」
- ・「インサイドでしっかりたたいてパスしよう」
- ・「1本1本が大事。1本のパスをミスしたら試合は成り立たないよ」
- ・「必ずインサイドでコントロールとパスしよう」
- ・「コントロールミスすると時間ももったいないよ」



コーチの声

- ・「ボールを奪いに行こう。持っているボールだって奪っていいぞ」
- ・「切り換えて」
- ・「大事なものはボールをつなぐこと」
- ・「いつも考えて早く切り替えよう」
- ・「考えると、青信号になった瞬間、走り出すのと同じこと」

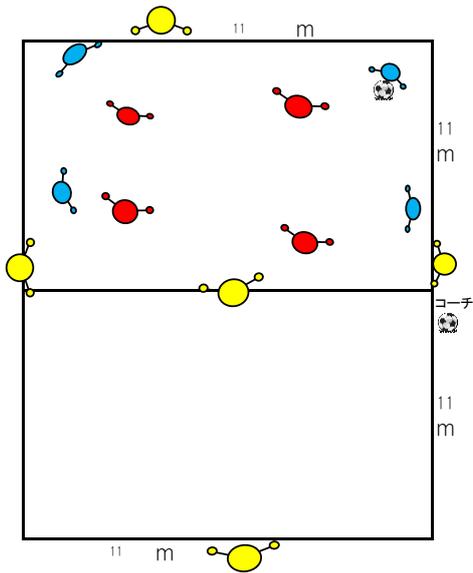
Q 狭くしていた理由は？

- A できるだけ狭いところでもミスしてほしくないから
- ・DFが奪いに行ける距離感を保つため
 - ・狭くすることでプレスが掛かる。
 - ・逆サイドへのパスを浮き球か？グラウンダーか？の選択肢も増やしたい

コーチ



「TR-2」 4対4+5フリーマン



コーチの声

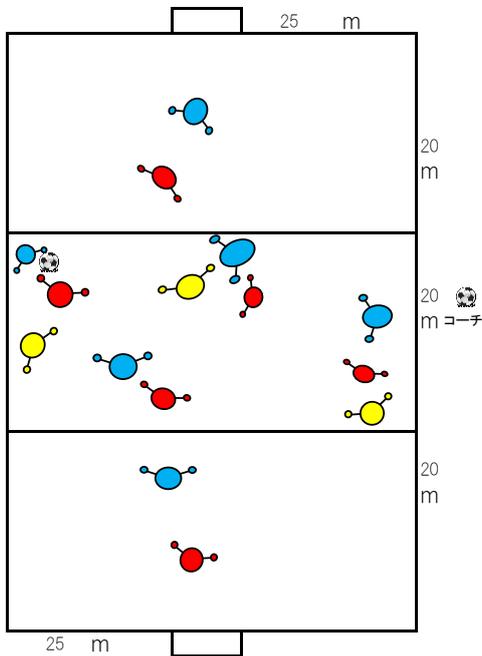
- ・「パスはアウトサイドではなく、インサイドで」
- ・「日本人は恥ずかしやが多い。ホッヘンハイムU18は昨年ドイツリーグで優勝した。そのみんながプロを目指している。サッカーは厳しいのが当たり前。もっと力を出して、声を出して、数を数えて、大きな声で数えて！」

↓
選手に変化がありアグレッシブにプレーするようになった

【オーガナイズ】

- ・4人でフリーマンを使ってパスを4本通したら逆サイドのフリーマンへパス
- ・逆サイドにボールが入ったら攻撃者守備者とも逆ゾーンへ素早く移動
- ・守備者にボールを奪われた素早く攻守交代（コート外へ出たらコーチから配球）

「ゲーム」 1対1+4対4+1対1+GK（3フリーマンつき）



コーチの声

- ・「まずFWを探して」
- ・「切り換え」
- ・「前に！前に！」
- ・「まずFWを見て攻めていこう」

Q. DFの厳しさはどうですか？

A. もっとプレスをかけないといけない。
そして、そのプレスの中で解決策を見つけさせる



【オーガナイズ】

- ・中央4対4（フリーマン3人は攻撃の味方）でトップにパスしたら前のゾーンに入れる
- ・トップにボールが入ったら攻撃側は素早くサポートしゴールに向かう
- ・ドリブルインはなし、オフサイドもなし